

所有免許状教科と免許外担任教科の状況（中学校）

		担任する教科											免許教科別合計	
		国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健体育	技術	家庭	外国語	その他		
所有する免許教科	国語		36 (13.5%)	31 (7.5%)	14 (7.1%)	16 (22.9%)	109 (11.7%)	37 (10.4%)	92 (4.6%)	290 (13.9%)	24 (13.3%)	0 (0.0%)	649	
	社会	45 (15.3%)		38 (9.2%)	21 (10.7%)	8 (11.4%)	96 (10.3%)	83 (23.4%)	256 (12.7%)	87 (4.2%)	32 (17.8%)	0 (0.0%)	666	
	数学	20 (6.8%)	22 (8.2%)		43 (21.8%)	10 (14.3%)	71 (7.6%)	57 (16.1%)	381 (18.9%)	112 (5.4%)	12 (6.7%)	0 (0.0%)	728	
	理科	27 (9.2%)	26 (9.7%)	119 (28.7%)		4 (5.7%)	62 (6.7%)	52 (14.6%)	351 (17.4%)	105 (5.0%)	16 (8.9%)	0 (0.0%)	762	
	音楽	52 (17.6%)	37 (13.9%)	33 (8.0%)	15 (7.6%)		276 (29.7%)	13 (3.7%)	93 (4.6%)	626 (30.1%)	29 (16.1%)	0 (0.0%)	1,174	
	美術	29 (9.8%)	24 (9.0%)	22 (5.3%)	5 (2.5%)	4 (5.7%)		17 (4.8%)	153 (7.6%)	149 (7.2%)	11 (6.1%)	0 (0.0%)	414	
	保健体育	41 (13.9%)	41 (15.4%)	56 (13.5%)	16 (8.1%)	5 (7.1%)	97 (10.4%)	2 (0.6%)	450 (22.3%)	176 (8.5%)	21 (11.7%)	0 (0.0%)	905	
	技術	11 (3.7%)	32 (12.0%)	62 (15.0%)	65 (33.0%)	(0.0%)	75 (8.1%)	43 (12.1%)		316 (15.2%)	10 (5.6%)	0 (0.0%)	614	
	家庭	31 (10.5%)	23 (8.6%)	19 (4.6%)	8 (4.1%)	7 (10.0%)	48 (5.2%)	13 (3.7%)	145 (7.2%)		24 (13.3%)	0 (0.0%)	318	
	外国語	39 (13.2%)	25 (9.4%)	21 (5.1%)	10 (5.1%)	16 (22.9%)	96 (10.3%)	38 (10.7%)	91 (4.5%)	213 (10.2%)		0 (0.0%)	549	
	その他	(0.0%)	1 (0.4%)	13 (3.1%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	8 (0.4%)	8 (0.4%)	1 (0.6%)	0 (0.0%)	31
	担任教科別合計	295	267	414	197	70	930	355	2,020	2,082	180	0	6,810	

注：中学校の教科のうち「保健体育」には「保健」を含み、「その他」には「職業」、「職業指導」及び「職業実習」を含む。

H29.5.1時点

所有免許状教科と免許外担任教科の状況（高等学校）

		担任する教科																					免許教科別 合計
		国語	地理 歴史	公民	数学	理科	音楽	美術	工芸	書道	保健 体育	看護	家庭	情報	農業	工業	商業	水産	福祉	商船	職業 指導	外国 語	
所有する 免許 教科	国語		4 (2.2%)	3 (0.8%)	1 (2.4%)	(0.0%)	3 (33.3%)	2 (13.3%)	(0.0%)	46 (56.1%)	6 (10.2%)	1 (5.6%)	1 (2.1%)	37 (3.2%)	4 (2.2%)	3 (0.9%)	2 (1.9%)	1 (0.8%)	10 (6.5%)	(0.0%)	(0.0%)	25 (19.7%)	149
	地理歴史	4 (30.8%)		347 (97.7%)	(0.0%)	1 (4.2%)	1 (11.1%)	1 (6.7%)	2 (3.7%)	4 (4.9%)	10 (16.9%)	(0.0%)	4 (8.5%)	64 (5.6%)	13 (7.1%)	1 (0.3%)	7 (6.5%)	2 (1.6%)	22 (14.4%)	(0.0%)	1 (25.0%)	2 (1.6%)	486
	公民	4 (30.8%)	171 (96.1%)		1 (2.4%)	1 (4.2%)	2 (22.2%)	(0.0%)	(0.0%)	4 (4.9%)	1 (1.7%)	(0.0%)	4 (8.5%)	40 (3.5%)	4 (2.2%)	1 (0.3%)	6 (5.6%)	2 (1.6%)	5 (3.3%)	(0.0%)	1 (25.0%)	2 (1.6%)	249
	数学	(0.0%)	(0.0%)	1 (0.3%)		11 (45.8%)	(0.0%)	2 (13.3%)	2 (3.7%)	3 (3.7%)	7 (11.9%)	2 (11.1%)	3 (6.4%)	257 (22.4%)	7 (3.8%)	4 (1.2%)	6 (5.6%)	1 (0.8%)	4 (2.6%)	(0.0%)	1 (25.0%)	3 (2.4%)	314
	理科	1 (7.7%)	(0.0%)	(0.0%)	19 (45.2%)		1 (11.1%)	2 (13.3%)	(0.0%)	3 (3.7%)	9 (15.3%)	1 (5.6%)	3 (6.4%)	190 (16.6%)	20 (10.9%)	26 (7.8%)	23 (21.3%)	3 (2.4%)	4 (2.6%)	(0.0%)	(0.0%)	3 (2.4%)	308
	音楽	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)		(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	2 (4.3%)	35 (3.0%)	(0.0%)	(0.0%)	2 (1.9%)	(0.0%)	5 (3.3%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	44
	美術	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)		46 (85.2%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	1 (2.1%)	35 (3.0%)	1 (0.5%)	135 (40.4%)	3 (2.8%)	(0.0%)	1 (0.7%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	222
	工芸	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	1 (4.2%)	(0.0%)	1 (6.7%)		(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	1 (0.1%)	(0.0%)	29 (8.7%)	(0.0%)	1 (0.8%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	33
	書道	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	1 (2.4%)	(0.0%)	(0.0%)	1 (6.7%)	(0.0%)		(0.0%)	(0.0%)	1 (2.1%)	8 (0.7%)	(0.0%)	(0.0%)	1 (0.9%)	(0.0%)	1 (0.7%)	(0.0%)	(0.0%)	1 (0.8%)	14
	保健体育	1 (7.7%)	(0.0%)	1 (0.3%)	4 (9.5%)	2 (8.3%)	(0.0%)	(0.0%)	1 (1.9%)	5 (6.1%)	1 (1.7%)	1 (5.6%)	6 (12.8%)	42 (3.7%)	5 (2.7%)	3 (0.9%)	4 (3.7%)	5 (4.0%)	15 (9.8%)	(0.0%)	1 (25.0%)	(0.0%)	97
	看護	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	1 (5.6%)	(0.0%)	2 (0.2%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	6 (3.9%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	9
	家庭	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	1 (2.4%)	1 (4.2%)	1 (11.1%)	3 (20.0%)	1 (1.9%)	4 (4.9%)	1 (1.7%)	4 (22.2%)	(0.0%)	59 (5.1%)	75 (41.0%)	3 (0.9%)	5 (4.6%)	5 (4.0%)	69 (45.1%)	(0.0%)	(0.0%)	1 (0.8%)	233
	情報	(0.0%)	(0.0%)	1 (0.3%)	4 (9.5%)	(0.0%)	(0.0%)	1 (6.7%)	(0.0%)	(0.0%)	2 (3.4%)	3 (16.7%)	1 (2.1%)	(0.0%)	5 (2.7%)	7 (2.1%)	13 (12.0%)	1 (0.8%)	3 (2.0%)	(0.0%)	(0.0%)	2 (1.6%)	43
	農業	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	1 (2.4%)	2 (8.3%)	(0.0%)	(0.0%)	1 (1.9%)	(0.0%)	2 (3.4%)	(0.0%)	10 (21.3%)	19 (1.7%)	3 (1.6%)	36 (10.8%)	23 (21.3%)	2 (1.6%)	3 (2.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	102
	工業	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	5 (11.9%)	3 (12.5%)	(0.0%)	(0.0%)	1 (1.9%)	2 (2.4%)	3 (5.1%)	(0.0%)	1 (2.1%)	33 (2.9%)	20 (10.9%)	81 (24.3%)	2 (1.9%)	39 (31.5%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	1 (0.8%)	191
	商業	(0.0%)	2 (1.1%)	2 (0.6%)	2 (4.8%)	(0.0%)	(0.0%)	2 (13.3%)	(0.0%)	1 (1.2%)	3 (5.1%)	1 (5.6%)	3 (6.4%)	279 (24.3%)	10 (5.5%)	1 (0.3%)	(0.0%)	6 (4.8%)	1 (0.7%)	(0.0%)	(0.0%)	3 (2.4%)	316
	水産	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	1 (1.2%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	2 (0.2%)	3 (1.6%)	3 (0.9%)	2 (1.9%)	1 (0.8%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	12
	福祉	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	1 (2.4%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	3 (16.7%)	5 (10.6%)	3 (0.3%)	11 (6.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	23
	商船	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	2 (4.8%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	1 (1.7%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	55 (44.4%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	58
	職業指導	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	0
外国語	3 (23.1%)	1 (0.6%)	(0.0%)	(0.0%)	2 (8.3%)	1 (11.1%)	(0.0%)	(0.0%)	9 (11.0%)	13 (22.0%)	1 (5.6%)	2 (4.3%)	42 (3.7%)	2 (1.1%)	1 (0.3%)	9 (8.3%)	(0.0%)	4 (2.6%)	(0.0%)	(0.0%)	84 (66.1%)	174	
担任教科別 合計	13	178	355	42	24	9	15	54	82	59	18	47	1,148	183	334	108	124	153	0	4	127	3,077	

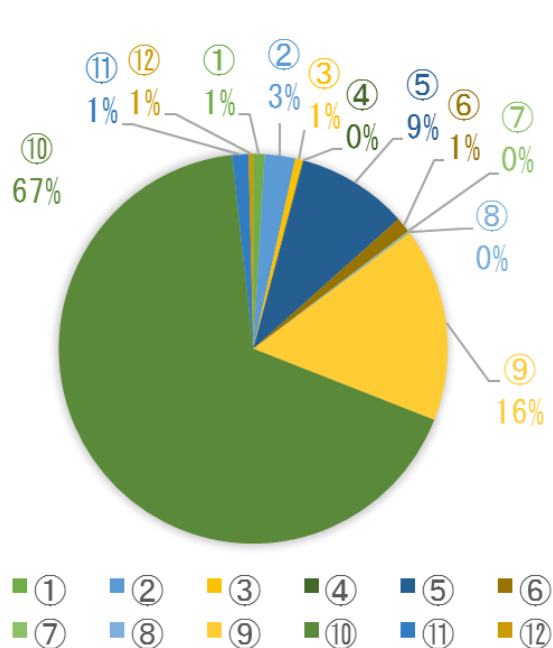
H29.5.1時点

注: 高等学校の教科のうち「保健体育」には「保健」を含み、「看護」には「看護実習」、「家庭」には「家庭実習」、「情報」には「情報実習」、「農業」には「農業実習」、「工業」には「工業実習」、「商業」には「商業実習」、「水産」には「水産実習」、「福祉」には「福祉実習」、「商船」には「商船実習」を含む。

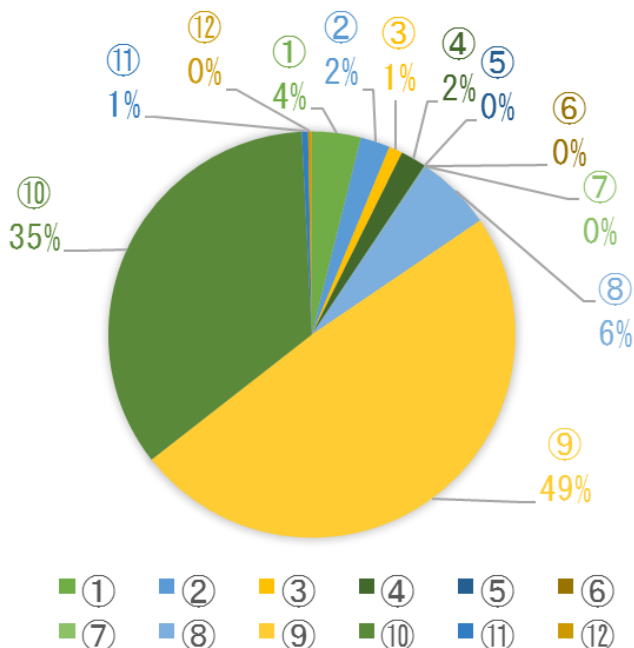
許可理由別割合

■ 許可理由

- ①教員間の持ち時間数の平準化
- ②教員間の校務分掌等の勤務時間の平準化
- ③少人数教育のため
- ④チームティーチングのため
- ⑤特別支援学級の生徒への指導のため
- ⑥院内学級の生徒への指導のため
- ⑦外国人児童生徒への指導のため
- ⑧その他特別な指導の充実のため
- ⑨配置された当該教科免許保持者が少なく、授業時間数を満たすことができないため
- ⑩定数内で当該教科の免許を持った教員を配置できないため
- ⑪病欠による欠員
- ⑫産休、育休による欠員



中学校の許可理由割合



高等学校の許可理由割合

平成29年度選考 教科別志願者・受験者・採用者

○中学校(都道府県・指定都市別)

		国語	社会	数学	理科	音楽	美術	家庭	技術	保体	英語	その他	合計
都道府県小計	志願者数	5,559	9,602	6,993	5,132	3,088	1,805	1,298	654	10,463	7,121	76	51,791
	受験者数	5,115	8,707	6,502	4,690	2,826	1,650	1,194	603	9,881	6,484	72	47,724
	採用者数	911	798	974	851	345	227	217	166	831	1,025	15	6,360
指定都市等小計	志願者数	1,157	2,027	1,388	1,050	589	348	358	149	2,075	1,570	213	10,924
	受験者数	1,009	1,715	1,241	904	502	300	324	119	1,883	1,314	173	9,484
	採用者数	205	178	178	189	60	65	61	44	175	217	42	1,414
合計	志願者数	6,716	11,629	8,381	6,182	3,677	2,153	1,656	803	12,538	8,691	289	62,715
	受験者数	6,124	10,422	7,743	5,594	3,328	1,950	1,518	722	11,764	7,798	245	57,208
	採用者数	1,116	976	1,152	1,040	405	292	278	210	1,006	1,242	57	7,774

※「その他」とは、特別支援教育担当教員として教科とは別枠で募集・採用し、特別支援学級担任等として配置・活用しているもの。
 ※中学校・高等学校教諭の募集を同一の採用枠内で行っている場合は中学校に含めている。
 ※小学校・中学校・高等学校教諭の募集を同一の採用枠内で行っている場合は中学校に含めている。
 ※小学校・中学校・高等学校教諭の募集を同一の採用枠内で行っている場合は中学校に含めている。

○高等学校(都道府県・指定都市別)

		国語	日本史	世界史	歴史一括	地理	地歴一括	政経	倫理	公民一括	地歴公一括	数学	物理
都道府県小計	志願者数	3,704	847	490	439	327	2,014	375	44	930	309	5,049	805
	受験者数	3,358	771	420	395	295	1,786	333	40	808	276	4,614	733
	採用者数	664	71	65	37	53	204	25	5	76	49	619	106
指定都市等小計	志願者数	167					79			32	102	90	9
	受験者数	131					61			21	75	60	7
	採用者数	15	1	1		1	3			2	5	9	1
合計	志願者数	3,871	847	490	439	327	2,093	375	44	962	411	5,139	814
	受験者数	3,489	771	420	395	295	1,847	333	40	829	351	4,674	740
	採用者数	679	72	66	37	54	207	25	5	78	54	628	107

		化学	生物	地学	理科一括	音楽	美術	書道	保体	看護	家庭	農業	工業
都道府県小計	志願者数	1,000	1,110	95	1,439	759	644	366	7,167	46	872	752	1,434
	受験者数	893	1,010	87	1,271	682	577	330	6,673	44	800	699	1,301
	採用者数	129	108	17	195	82	75	29	495	21	147	121	285
指定都市等小計	志願者数		12		89				79				84
	受験者数		9		68				55				71
	採用者数	1	1		5	1	2		8				19
合計	志願者数	1,000	1,122	95	1,528	759	644	366	7,246	46	872	752	1,518
	受験者数	893	1,019	87	1,339	682	577	330	6,728	44	800	699	1,372
	採用者数	130	109	17	200	83	77	29	503	21	147	121	304

		商業	水産	情報	福祉	英語	その他※	合計
都道府県小計	志願者数	1,666	70	513	211	3,718	23	37,214
	受験者数	1,507	57	442	187	3,326	18	33,730
	採用者数	153	23	45	35	743	2	4,679
指定都市等小計	志願者数	73		19		178	3	1,016
	受験者数	54		10		105	2	729
	採用者数	9		2		16		102
合計	志願者数	1,739	70	532	211	3,896	26	38,230
	受験者数	1,561	57	452	187	3,431	20	34,459
	採用者数	162	23	47	35	759	2	4,781

※「その他」とは、「フランス語」「中国語」「工業実習」「韓国・朝鮮語」「家庭・福祉共通」の各試験の合算である。
 ※中学校・高等学校教諭の募集を同一の採用枠内で行っている場合は中学校に記載している。

中学校標準授業時数

○学校教育法施行規則（昭和 22 年文部省令第 11 号）

第 5 章 中学校

第七十三条 中学校（併設型中学校、第七十四条の二第二項に規定する小学校連携型中学校、第七十五条第二項に規定する連携型中学校及び第七十九条の九第二項に規定する小学校併設型中学校を除く。）の各学年における各教科、道徳、総合的な学習の時間及び特別活動のそれぞれの授業時数並びに各学年におけるこれらの総授業時数は、別表第二に定める授業時数を標準とする。

別表第二（第七十三条関係）

区分		第一学年	第二学年	第三学年
各教科の授業時数	国語	140	140	105
	社会	105	105	140
	数学	140	105	140
	理科	105	140	140
	音楽	45	35	35
	美術	45	35	35
	保健体育	105	105	105
	技術・家庭	70	70	35
	外国語	140	140	140
道徳の授業時数		35	35	35
総合的な学習の時間の授業時数		50	70	70
特別活動の授業時数		35	35	35
総授業時数		1015	1015	1015

備考

- この表の授業時数の一単位時間は、五十分とする。
- 特別活動の授業時数は、中学校学習指導要領で定める学級活動（学校給食に係るものを除く。）に充てるものとする。

高等学校標準授業時数

○高等学校学習指導要領（平成21年3月）

第2款 各教科・科目及び単位数等

1 卒業までに履修させる単位数等

各学校においては、卒業までに履修させる下記2から5までに示す各教科に属する科目及びその単位数、総合的な学習の時間の単位数並びに特別活動及びその授業時数に関する事項を定めるものとする。この場合、各教科に属する科目（以下「各教科・科目」という。）及び総合的な学習の時間の単位数の計は、第3款の1、2及び3の(1)に掲げる各教科・科目の単位数並びに総合的な学習の時間の単位数を含めて74単位以上とする。

単位については、1単位時間を50分とし、35単位時間の授業を1単位として計算することを標準とする。ただし、通信制の課程においては、第7款の定めるところによるものとする。

2 各学科に共通する各教科・科目及び総合的な学習の時間並びに標準単位数

各学校においては、教育課程の編成に当たって、次の表に掲げる各教科・科目及び総合的な学習の時間並びにそれぞれの標準単位数を踏まえ、生徒に履修させる各教科・科目及び総合的な学習の時間並びにそれらの単位数について適切に定めるものとする。ただし、生徒の実態等を考慮し、特に必要がある場合には、標準単位数の標準の限度を超えて単位数を増加して配当することができる。

教科等	科目	標準単位数	教科等	科目	標準単位数
国語	国語総合	4	保健体育	体育	7~8
	国語表現	3		保健	2
	現代文A	2	芸術	音楽Ⅰ	2
	現代文B	4		音楽Ⅱ	2
	古典A	2		音楽Ⅲ	2
	古典B	4		美術Ⅰ	2
地理歴史	世界史A	2	美術Ⅱ	2	
	世界史B	4	美術Ⅲ	2	
	日本史A	2	工芸Ⅰ	2	
	日本史B	4	工芸Ⅱ	2	
	地理A	2	工芸Ⅲ	2	
	地理B	4	書道Ⅰ	2	
公民	現代社会	2	書道Ⅱ	2	
	倫理	2	書道Ⅲ	2	
	政治・経済	2	外国語	コミュニケーション英語基礎	2
数学	数学Ⅰ	3		コミュニケーション英語Ⅰ	3
	数学Ⅱ	4			
	数学Ⅲ	5			

	数 学 A	2		コミュニケーション英語Ⅱ	4
	数 学 B	2		コミュニケーション英語Ⅲ	4
	数 学 活 用	2		英語表現Ⅰ	2
理 科	科学と人間生活	2	家 庭	英語表現Ⅱ	4
	物 理 基 礎	2		家 庭 基 礎	2
	物 理	4		家 庭 総 合	4
	化 学 基 礎	2		生 活 デ ザ イ ン	4
	化 学	4	情 報	社 会 と 情 報	2
	生 物 基 礎	2		情 報 の 科 学	2
	生 物	4	総 合 的 な 学 習 の 時 間		3～6
	地 学 基 礎	2			
	地 学	4			
	理科課題研究	1			

3 主として専門学科において開設される各教科・科目

各学校においては、教育課程の編成に当たって、次の表に掲げる主として専門学科（専門教育を主とする学科をいう。以下同じ。）において開設される各教科・科目及び設置者の定めるそれぞれの標準単位数を踏まえ、生徒に履修させる各教科・科目及びその単位数について適切に定めるものとする。

教科	科目	教科	科目
農 業	農業と環境、課題研究、総合実習、農業情報処理、作物、野菜、果樹、草木、畜産、農業経営、農業機械、食品製造、食品化学、微生物利用、植物バイオテクノロジー、動物バイオテクノロジー、農業経済、食品流通、森林科学、森林経営、林産物利用、農業土木設計、農業土木施工、水循環、造園計画、造園技術、環境緑化材料、測量、生物活用、グリーンライフ	商 業	ビジネス基礎、課題研究、総合実践、ビジネス実務、マーケティング、商品開発、広告と販売促進、ビジネス経済、ビジネス経済応用、経済活動と法、簿記、財務会計Ⅰ、財務会計Ⅱ、原価計算、管理会計、情報処理、ビジネス情報、電子商取引、プログラミング、ビジネス情報処理
			水 産
工 業	工業技術基礎、課題研究、実習、製図、工業数理基礎、情報技術基礎、材料技術基礎、生産システム技術、工業技術英語、工業管理技術、環境工学基礎、機械工作、機械設計、原動機、電子機械、電子		

	機械応用、自動車工学、自動車整備、電気基礎、電気機器、電力技術、電子技術、電子回路、電子計測制御、通信技術、電子情報技術、プログラミング技術、ハードウェア技術、ソフトウェア技術、コンピュータシステム技術、建築構造、建築計画、建築構造設計、建築施工、建築法規、設備計画、空気調和設備、衛生・防災設備、測量、土木基礎力学、土木構造設計、土木施工、社会基盤工学、工業化学、化学工学、地球環境化学、材料製造技術、工業材料、材料加工、セラミック化学、セラミック技術、セラミック工業、繊維製品、繊維・染色技術、染織デザイン、インテリア計画、インテリア装備、インテリアエレメント生産、デザイン技術、デザイン材料、デザイン史	家庭	生活産業基礎、課題研究、生活産業情報、消費生活、子どもの発達と保育、子ども文化、生活と福祉、リビングデザイン、服飾文化、ファッション造形基礎、ファッション造形、ファッションデザイン、服飾手芸、フードデザイン、食文化、調理、栄養、食品、食品衛生、公衆衛生
		看護	基礎看護、人体と看護、疾病と看護、生活と看護、成人看護、老年看護、精神看護、在宅看護、母性看護、小児看護、看護の統合と実践、看護臨地実習、看護情報活用
		情報	情報産業と社会、課題研究、情報の表現と管理、情報と問題解決、情報テクノロジー、アルゴリズムとプログラム、ネットワークシステム、データベース、情報システム実習、情報メディア、情報デザイン、表現メディアの編集と表現、情報コンテンツ実習
福祉	社会福祉基礎、介護福祉基礎、コミュニケーション技術、生活支援技術、介護過程、介護総合演習、介護実習、こころとからだの理解、福祉情報活用	体育	スポーツ概論、スポーツⅠ、スポーツⅡ、スポーツⅢ、スポーツⅣ、スポーツⅤ、スポーツⅥ、スポーツ総合演習
理数	理数数学Ⅰ、理数数学Ⅱ、理数数学特論、理数物理、理数化学、理数生物、里通	音楽	音楽理論、音楽史、演奏研究、ソルフェージュ、声楽、器楽、作曲、鑑賞研究
英語	総合英語、英語理解、英語表現、異文化理解、時事英語	美術	美術概論、美術史、素描、構成、絵画、版画、彫刻、ビジュアルデザイン、クラフトデザイン、情報メディアデザイン、映像表現、環境造形、鑑賞研究

4 学校設定科目

学校においては、地域、学校及び生徒の実態、学科の特色等に応じ、特色ある教育課程の編成に資するよう、上記2及び3の表に掲げる教科について、これらに属する科目以外の科目（以下「学校設定科目」という。）を設けることができる。この場合において、学校設定科目の名称、目標、内容、単位数等については、その科目の属する教科の目標に基づ

き、各学校の定めるところによるものとする。

5 学校設定教科

(1) 学校においては、地域、学校及び生徒の実態、学科の特色等に応じ、特色ある教育課程の編成に資するよう、上記2及び3の表に掲げる教科以外の教科（以下「学校設定教科」という。）及び当該教科に関する科目を設けることができる。この場合において、学校設定教科及び当該教科に関する科目の名称、目標、内容、単位数等については、高等学校教育の目標及びその水準の維持等に十分配慮し、各学校の定めるところによるものとする。

(2) 学校においては、学校設定教科に関する科目として「産業社会と人間」を設けることができる。この科目の目標、内容、単位数等を各学校において定めるに当たっては、産業社会における自己の在り方生き方について考えさせ、社会に積極的に寄与し、生涯にわたって学習に取り組む意欲や態度を養うとともに、生徒の主体的な各教科・科目の選択に資するよう、就業体験等の体験的な学習や調査・研究などを通して、次のような事項について指導することに配慮するものとする。

ア 社会生活や職業生活に必要な基本的な能力や態度及び望ましい勤労観、職業観の育成

イ 我が国の産業の発展とそれがもたらした社会の変化についての考察

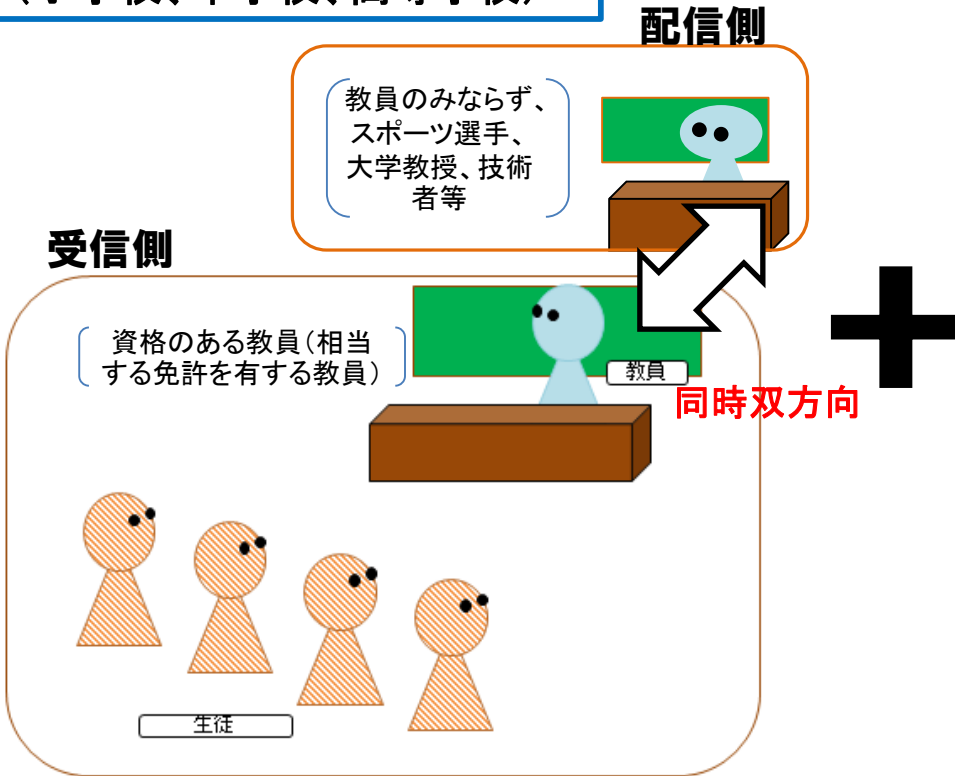
ウ 自己の将来の生き方や進路についての考察及び各教科・科目の履修計画の作成

複数教科免許状保有による教員採用試験での加点の実施状況

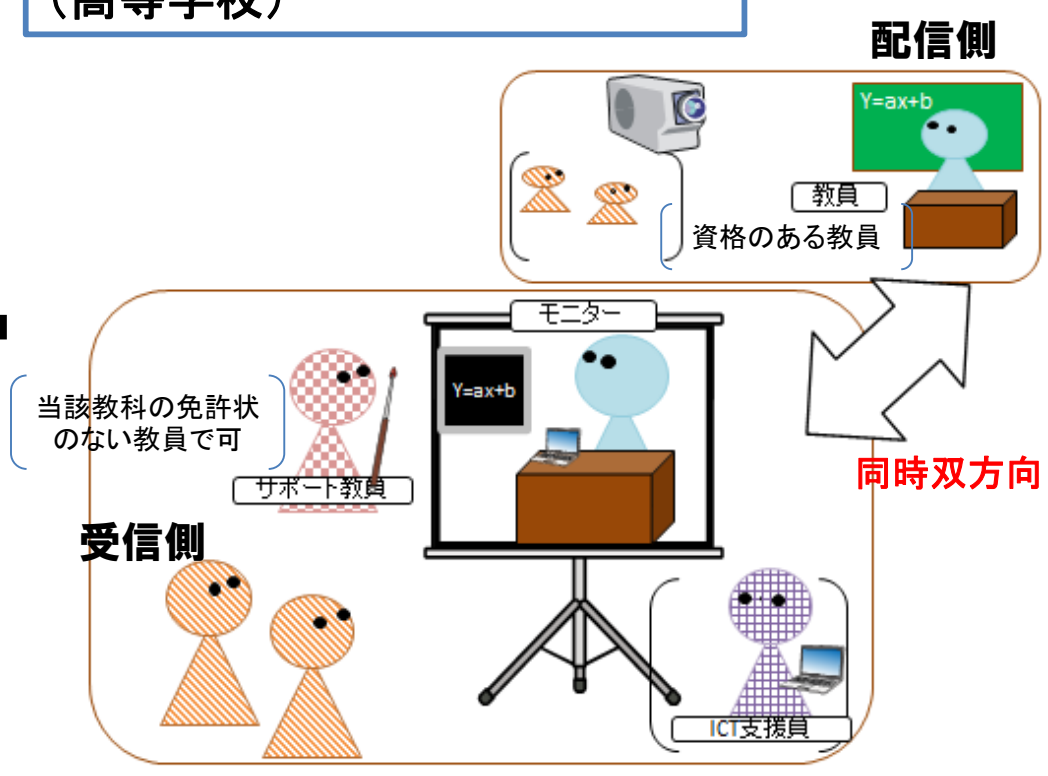
	受験教科に対する他教科(複数教科)免許状保有による加点	
	中学校教諭	高等学校教諭
福島県		受験教科以外に「情報」の免許状も保有
茨城県	複数教科の免許状を保有	受験教科以外に「情報」、「福祉」、「看護」の免許状も保有 地理歴史受験者が「公民」を保有、 公民受験者が「地理歴史」を保有 家庭受験者が「福祉」を保有
栃木県		受験教科以外に「情報」の免許状も保有
群馬県		受験教科以外に「情報」の免許状も保有 地理歴史受験者が「公民」を保有 公民受験者が「地理歴史」を保有 家庭受験者が「福祉」を保有
埼玉県		国語受験者が「中国語」を保有 英語受験者が「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」の免許状も保有
新潟県	「音楽」、「美術」、「技術」、「家庭」受検者で他教科の免許状も保有	受験教科以外に「情報」の免許状も保有 書道受検者が「国語」を保有
山梨県	複数教科の免許状を保有	複数教科の免許状を保有
静岡県	複数教科の免許状を保有	複数教科の免許状を保有
三重県	複数教科の免許状を保有	受験教科以外に「情報」の免許状も保有
奈良県	「音楽」、「美術」、「技術」、「家庭」を含む複数教科を保有	受験教科以外に「情報」の免許状も保有 地理歴史受験者が「公民」の免許状も保有
徳島県	「音楽」、「美術」、「保健体育」、「技術」、「家庭」を 志願する者で、出願教科以外の免許状を保有	受験教科以外に「情報」の免許状も保有 「家庭」受検者が「福祉」の免許状も保有 公民受験者が「地理歴史」を保有 家庭受験者が「福祉」を保有
愛媛県	複数教科の免許状を保有	受験教科以外に「情報」、「福祉」の免許状も保有
高知県	複数教科の免許状を保有	
佐賀県	複数教科の免許状を保有	受験教科以外に「情報」、「福祉」、「看護」の免許状も保有 「地理歴史」受験者が「公民」の免許状も保有
長崎県	複数教科の免許状を保有	受験教科以外に「情報」、「福祉」の免許状も保有
鹿児島県	複数教科の免許状を保有	受験教科以外に「情報」の免許状も保有
新潟市	「音楽」、「技術」又は「家庭」受検者で他教科の免許状も保有	「音楽」、「家庭」受検者で他教科の免許状も保有
浜松市	複数教科の免許状を保有	

高等学校における遠隔教育の導入

従来より可能な遠隔授業
(小学校、中学校、高等学校)



制度導入により可能となった授業
(高等学校)



1. 遠隔教育の導入

平成27年4月より、高等学校の全日制・定時制課程における遠隔教育(※)を正規の授業として制度化
(※) 学校から離れた空間へ、インターネット等のメディアを利用して、リアルタイムで授業配信を行うとともに、質疑応答等の双方向のやりとりを行うことが可能な同時双方向型の授業
平成28年度、24校で実施(単位認定まで至っている)

2. 具体的な要件について

- 配信側の教員は担当教科の免許保持者であり、かつ受信側の高等学校に属する教員であること
- 受信側にも高等学校の教員が立ち会うこと
- 教科書・教材は従来の対面と同じものを使用すること
- 評価については、配信側の教員が実施すること
- 配信側の教室等、受信側の教室等、それぞれの生徒数は40人以下とすること
- 74単位のうち、36単位を上限とすること(科目ごとに、一部、対面による授業を実施^(※)すること) 等

(※) 対面による授業の単位時間数は、2単位の科目の場合、70単位時間の授業時数のうち、1単位時間(国語)～10単位時間(体育)の範囲

3. 効果的な遠隔授業を行うための配慮事項(通知にて周知)

- ・授業中、教員と生徒が、互いに映像・音声等によるやりとりを行うこと。
- ・生徒の教員に対する質問の機会を確保すること。
- ・画面では黒板の文字が見づらい等の状況が予想される場合には、あらかじめ生徒にプリント教材等を準備するなどの工夫をすること。
- ・メディアを利用して行う授業の受信側の教室等に、必要に応じ、システムの管理・運営を行う補助員を配置すること。

遠隔教育の事例（熊本県高森町）

実践例 No.13

学年 中学校 1年生 教科名 美術

單元名 絵文字がしゃべりだす

参加学校 高森町立高森東中学校(3人)・
高森町立高森中学校(24人)

使用ICT機器



高森東中学校1台



グループ1台



高森中学校2台

- ・各生徒は前時までに、漢字の意味を踏まえた絵文字を考え、ワークシートにまとめました。
- ・本時では、情報端末を使って班ごとに相手校とつなぎ、自分が考えた絵文字を班で発表し、それぞれの良い点や気になる点について話し合いました。
- ・班ごとに話し合った内容を基に、班の代表が全体に向けて、どの絵文字が良いか、どこに手を加えると良いかなどを発表しました。最後に教員が、自ら作成した絵文字を提示しながら、ポイントを説明して振り返りを行いました。



▲相手校の生徒と班になって、自分の考えたことを発表し合う



▲班の代表が全体に向けて発表する



▲美術担当の教員が専門的なアドバイスを行う

遠隔合同授業
の評価



- 高森東中学校では、免許外教科担任による指導が行われていましたが、高森中学校と合同で授業を行うことで、美術科教員による専門的な指導を受けられました。
- 他人の絵文字を見たり意見を聞いたりして、自分では考え付かなかったようなアイデアを得ることができました。